



四日市大学留学生新聞 第53号

2024年11月28日(木) 発行

編集長 ★アスルニ ラチラゲ タルカ デ イルシャニ アベ ラスナ

副編集長 ★ボウデル サグン ★チョウ テンラク

編集委員 ★サイブイジェウ チャン ★ヴォン ゴック アイン

★イエー ミン ★スベディ ススマ

★ティルワ ビカス ★グエン ヴァン リエム

★グエン ティ ゴック アイン ★チョウ ギョウゲイ

【国旗一覧】

スリランカ 

中国 

ネパール 

ベトナム 

ミャンマー 

新入生歓迎交流会

2024.6.14 開催

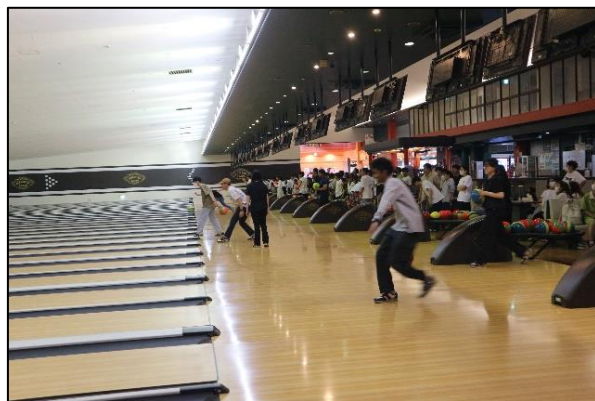


6月14日に新入生歓迎交流会が開催されました。新入生46人と上級生27人が参加し、さまざまなゲームやディスカッションを通じて交流を深めました。ディスカッションでは、大学生活や勉強のコツについて意見交換を行い、新入生たちは興味津々のようすで耳を傾けていました。このような交流を通じて新入生同士や上級生との距離が縮まり、和やかな雰囲気が広がりました。

新入生たちのフレッシュなエネルギーに触れることで、自分自身の大学生活の初心を思い出すきっかけとなりました。また、彼らとの交流を通じて、新しい視点や考え方を知ることができ、自分自身の成長にも繋がったと感じています。

新入生が一日も早く大学生活に慣れるための手助けになったらよかったですが、どうだったでしょうか。

【環境情報学部2年 イエー ミン 】



研修旅行

2024.9.12～9.13 開催



9月12日と13日大学の研修旅行で滋賀県へ行きました。1泊2日の旅行で彦根城、信楽陶芸村、三井寺、三井アウトレットパークそして、ラコリーナ近江八幡の5カ所も訪れました。

一日目は、自然に囲まれていてすごく綺麗な彦根城と信楽焼のたぬきがたくさん飾られていて歩いていると楽しくなる信楽陶芸村へ行きました。そこで信楽焼たぬきの色付けもしました。

二日目は三井寺と三井アウトレットへ行きました。三井寺で体に様々な効果がある坐禅を体験しました。その後アウトレットで少し買い物し、ラコリーナ近江八幡で昔の車のデザインに造られたお店をたくさん見ました。



2日間の短い旅行でも日本の歴史的なお城を見ることそして、姿勢もよくなり、呼吸を整え精神統一もできる座禅体験もできたので研修旅行に参加して良かったです。歩くことが多かったので少し疲れましたが、とても楽しい旅行でした。

【環境情報学部3年 ポウデル サグン 】



9月12(木)～9月13日(金)の1泊2日の留学生・日本人学生交流研修旅行に参加しました。今回の目的地は三重県の隣にある滋賀県でした。1日目は、バスで国宝彦根城に向かいましたが、改装工事のため天守閣には見学できませんでした。残念でした。その後、信楽陶芸村に行って、たぬきに絵付け体験をしました。皆が楽しくやっていました。2日目は、三井寺に行って、初めて座禅体験をしました。その後三井アウトレットパーク滋賀竜王

に昼食を食べて、買い物をしました。最後に、ラコリーナ近江八幡に行って、バームクーヘンファクトリを見学し、買い物もできました。1泊2日という短い期間でしたが、皆と交流できて、日本の文化も勉強できて、参加して良かったと思います。



【総合政策学部3年 ヴォン ゴック アイン 】





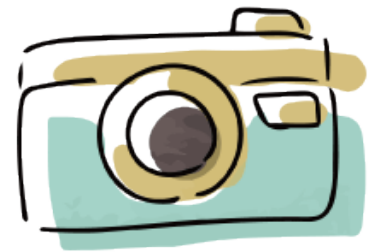
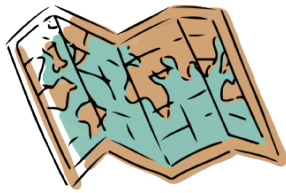
9月12日～9月13日に留学生日本人学生交流研修旅行で滋賀県に行きました。三井寺で坐禅をしました。坐禅をした後、体がすっきりしました。お坊さんからネズミになって城を破壊した伝説も聞きました。

滋賀県は自然にはもちろん文化的にもとても優れています。日本の縁起物とされているタヌキを作る場所にも行きました。そこで日本の歴史を学ぶことができました。友達と遊びながら日



本の歴史的な建物やお寺を見ることができました。代表的な建物やお寺だけではなく滋賀県の和食を食べることができました。三井アウトレットパーク 滋賀竜王は豊かな自然を生かした場所でした。土から作った建物や建物の上に乗せた物はまるでネパールにいるような感じでした。

【環境情報学部2年 ティルワ ビカス 🇳🇵】



弁論大会に出場して



2023年度の弁論大会最優秀賞を受賞した3年生のリュウキンさんに、取材をしました。リュウキンさんのテーマは「少子高齢化」です。リュウキンさんは、少子高齢化が日本の深刻な問題だと考えています。このテーマを選んで、皆さんにこの問題をより直感的に理解してもらいたいそうです。

リュウキンさんはまた、忙しい学業とアルバイトの合間に弁論大会の準備をしなければならず、時間がタイトだと言っていました。今回の

優秀な成績について、この成績になるとは思っていなかったと言ひ、賞の発表の時はとても驚いたそうです。

最後に、多くの皆さんが弁論大会に積極的に参加して、リュウキンさんとともに今年の弁論大会で発表することを期待します。



【総合政策学部3年 チョウ テンラク 🇨🇳】

国際交流（スリランカ）

2024.6.29 開催



私は、2024年6月29日桑名市の深谷教育集合所で「人権ひろば kizuki〜スリランカの文化を学ぶ」という国際交流活動に参加しました。当日は、14名の小学生と7名の保護者が参加していました。

最初に、シンハラ語で挨拶の練習をし、その後、スリランカの国旗、首都やスリランカにある日本のものなどを紹介

したり、子どもと一緒にスリランカの遊びをしたりしました。楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。今回の体験を通じて、小学生の皆さんにスリランカなどの海外の国に興味を持ってもらうことができたと思います。そして、私にとっても母国を見直すことができる貴重な機会になりとてもよかったと感じています。



【総合政策学部3年 タルカ ディルシャニ 🇱🇰】

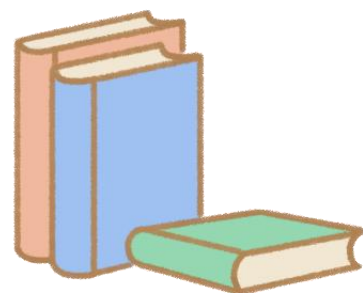
小学校通訳ボランティア



6月17日（月）から、川越南小学校で通訳ボランティアを始めたタマン モニカさんにインタビューしました。モニカさんは、彼女と同じネパールの子どもで、川越南小学校に通っているアリヤン君という子どもの通訳のボランティアをしています。彼女の話では、彼はまだひらがなやカタカナの読み書きに慣れておらず、漢字になるとさらに難しそうです。特に算数の授業では、掛け算や割り算の概念を理解するのが難しい

ようですが、数字や記号を見ながら一生懸命に取り組んでいます。家庭科の授業では、

4回にわたってリュック作りに挑戦しました。最初は話しかけにくい印象がありましたが、サポートすることでやる気を引き出せる子だとモニカさんは感じているようで、今後もアリヤン君の成長を見守り、支えていくつもりですと言っていました。



【環境情報学部2年 スベディ ススマ 🇳🇵】

留学生オープンキャンパス

2024.7.14・8.4 開催



7月14日と8月4日の2回、留学生向けのオープンキャンパスが行われました。学部説明、入試説明、在校生のインタビューが行われました。私は在校生インタビューの司会をし、日本語学校と大学との違い、受験生へのアドバイスなどについて在校生に聞きました。違いは、日本語学校では日本語の勉強をし、大学では日本について学べることです。そして一番の違いは日本語学校には留学生しかいないが、大学には日本人がいて全然環境が違うことです。そういう話をオープンキャンパスに来ていた皆さんに話しました。また、参加者の皆さんを、図書館など大学のいろいろな施設に案内しました。



オープンキャンパスの参加者の皆さんが、四日市大学に入学してくれることを楽しみにしています。

【総合政策学部2年 チョウ ギョウゲイ 】

大 学 祭

2024.10.26 開催



10月26日(土)四日市大学で四大祭が開催されました。留学生会は、ネパール、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、スリランカの学生が、それぞれの国の美味しい郷土料理を提供し、訪れた方々に各国の味を楽しんでいただける場となりました。

ネパールからはモモやナンロール、ベトナムからはバインジョーが出されました。ネパールのモモは多くの人々に親しまれ、文化的な意義も深い料理で、ベトナムのバインジョーは朝食として定番です。日本人も含め、多くの方が来場し、食を通して異文化交流が深まりました。

来年の四大祭でも多くの素敵な瞬間が生まれるといいですね。来年もぜひ、四大祭でお会いしましょう！



【環境情報学部3年 サイブイジェウ チャン 】

編集委員自己紹介 3 年生



趣味はアニメを見ると料理をすることです。経済・経営学に関することに興味があります。これらのことは、私の将来にとっても役立つと思います。

総合政策学部 チョウ テンラク 

現在、ゼミで会計学や企業研究を勉強しており、他にも学内行事や国際交流などにも参加しています。また卒業するまでに、簿記検定 3 級や TOICE の資格を取ることを目指しています。

総合政策学部 タルカ デイルシャニ 

現在、国際関係に関する問題に興味があり、研究しています。日本語や英語の語学力を高め、もう一つの外国語をチャレンジしたいと思っています。

総合政策学部 ヴォンゴックアイン 

現在、デジタル回路の研究に取り組んでいます。留学生新聞の原稿担当として多くの学びを得ることができ、本当に感謝しています。この経験を通じて成長し、皆さんが温かく迎えてくれたことに感謝しています。卒業までさらに努力を続けます。

環境情報学部 サイブイジェウ チャン 

現在、ウェブプログラミングを勉強しています。来日から一生懸命日本語を勉強して去年の 7 月に N1 を合格しました。これからは、プログラミング知識を高めることと日本で就職することに努力したいです。

環境情報学部 ポウデル サグン 



奨 学 金



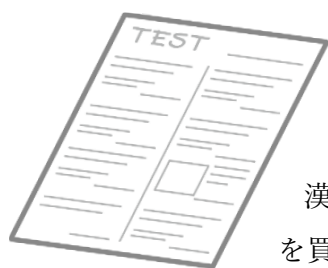
祝 おめでとうございます！ 祝



JEES 日本語修学支援奨学金
(日本国際教育支援協会)

環境情報学部 3 年 ポウデル サグン

N1 合格体験記①



私は、2024 年度の日本語能力試験 N1 を受けて合格しました。そのために、大学の日本語の授業で勉強しているスピードマスターの語彙、読解と文法の 3 冊の本を使って勉強しました。また、毎日、日本語の勉強のために 1 時間確保し、新しい漢字や言葉を覚えるようにしました。私が一番弱い点は読解なので読解問題集の本を買って練習しました。試験の 1 か月前、確保した時間を増やし、友達と一緒に勉強することにしました。毎日、数年前の試験問題を練習しながら、新しい言葉や文法などをノートにメモするようにし、自分で理解できなかったことは友達と相談しながら勉強するようにしました。その結果、N1 に合格できました。これからも日本語の勉強を怠らず、もっと上手になるように頑張ります。



【総合政策学部 3 年 タルカ ディルシャニ 】



N1 合格体験記②



アルバイトを続けながら、日本語能力試験 N1 合格を目指して、毎日 1 時間の勉強を欠かさず行いました。主にテキスト「スピードマスター」を使用して、語彙や文法、読解問題に重点を置きました。また、リスニング力を向上させるために、アニメや日本の映画を積極的に視聴しました。この取り組みにより、日常会話やスラングなどの実用的な表現も身につけることができました。さらに、自主学習も積極的に行い、特に弱点と感じる部分に集中して学習を進めました。限られた時間を最大限に活用し、効率的な学習方法に取り組むことで、N1 合格に必要なスキルを身につけることができました。これまでの学習過程での工夫や努力が、最終的に目標達成につながったと感じています。



【環境情報学部 2 年 スベディ ススマ 】

編集後記



私は編集長として、読者が求める内容に応えながら、多文化理解を深めた紙面作りに尽力してきました。異なるバックグラウンドを持つメンバーたちの意見を尊重し、彼らの個性を生かしつつ、チームの協調を大事にしてきました。

今回の新聞は留学生の皆さんが体験した学内行事はもちろん学外活動についてのインタビュー記事が書かれています。新入生歓迎交流会についてイエーミンさん、大学祭についてサイブイジェウ チャンさん、国際交流（スリランカ）について私（タルカディルシャニ）などのように一人一人が体験した様々な活動について書かれています。留学生の活動についてこの新聞で興味や関心を持っていただけたらうれしいです。



【総合政策学部 3 年 タルカ ディルシャニ 】

